



橋下と
維新に
負ける
な! 許
すな!

☆一月号はお休みでしたが、年末から年始にかけて情勢はますます激動。真正面から困難に立ち向かっている闘いと共に、私たちも前へ!

■連日連夜マスコミをにぎわす橋下と維新の暴走。公務

員労組バッシング、
団結権と生活権、人
権破壊のオンパレー
ド。競争・分断、密
告の奨励。弱者は切
捨て、金持ち・財界
は優遇。規制緩和と
民営化、血税投入で
財界の利潤追求を尻
押し。同時に若者の人気
取り的政策もちりばめる。
分断の意図をもって。そ
して国政進出の野望を満
展開。■齒軋りする思い
でお膝元の市労連の仲間
たちを心配し激励する日々。
公務員も労働者、不当な
法的制約が存在するとい
えども憲法二八条団結権
が保障された労働者。ま
してや基本的人権、生存

権があるのだ! 橋下は全
てを否定。まやかしの
「民意」を盾に、法も超
えて、この価値観、考え
方を浸透させ条例をもっ
て社会の規範にしようと
している。■「官の労働
者ガンバレ!」ではすま
ない。民間の労働者と九
九%の住民に銃口はむけ
られている。二月、二条
例阻止は正念場。
教育基本条例とめよう!
私たちの子や孫の「教
育目的」を橋下や松井が
決めるといふ。教育委員
会―校長―教員はトップ
ダウン式にロボットにな
れ、抵抗すれば打首だと。
目的は国際競争に勝つ川

資本の営利追求の為人
材製造と。子どもは教育
の主人公ではなく国家・
資本の利潤追求の為の材
料なのだ。人の痛みや喜
びを感じる心、助け合い
支えあい繋がること、大
震災で人々が感動し呼び
覚まされた人間本来の心
とあり方。橋下と維新は
これをぶっ壊す。日常不
断の競争と見せしめでゴ
マすり人間と奴隷根性を
再生産し、ひと握りの非
人間的なエリートと、ど
ん底であえぐ九九%の人々
を作る。こんな学校、こ
んな社会に子ども達を送
り出せと? 橋下・松井・
維新に子どもを取られて
たまるか!

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

職員基本条例とめよう!

松井知事は相対評価をゆずらず。必ず最低評価Dになる職員を5%つくりだす条例案に固執。二年連続Dなら首と。これで「民間の納得」得るって?ちょっと待って。これは《首》そのものを目的にしている。《首》は労働者への社会的死刑。それ自体を目的にする制度を「人事評価」の名において正当化し条例とするなど許されない。使用者の責任・義務も、労働者の権利・生活保障も全て消滅させた制度。こんな前近代的労使関係と労働者の処遇が、憲法と現行労働法制をやすやすと

飛び越えて「法」にされる?! 阻止のために闘う労働組合が先頭にたとう! 行動しよう!

◆教育基本条例に

反対する集会とデモ◆

二月十二日(日)
十三時半エル大阪
十五時〜デモ

↓大阪市庁包囲行動



■昨年、野田政権が辺野古新基地建設強行のための環境影響評価(アセスメント)の評価書を年内に沖縄県に提出しようとする目論みできた中、十一月、沖縄防衛局長が「犯す前に

犯すと言うか」と、沖縄差別、女性差別むき出しの暴言を吐いた。県内外で怒り沸騰、局長は更迭されたが…… ■アセスメント評価書の年内提出阻止のため市民は連日県庁を包囲、運送業者の荷物をチェックして搬入を阻止。沖縄防衛局は追いつめられ、卑劣にも十二月二八日未明、職員が県庁の守衛室に持ち込み置き去りに。「年内提出」のアリバイ。 ■一月二十一日、沖縄の市民団体「アメリカへ米軍基地に苦しむ沖縄の声を届ける会」が山内徳信議員を団長に米国へと発ち、米政府当局、上下院議員らと会談、

普天間基地の県内移設反対を訴え、二六日記者会見を行った。 ■「沖縄・第三期意見広告運動」はこの訪米団に連帯してワシントンポスト紙(ウェブ版)に緊急意見広告を掲載。五月には国内紙への掲載を予定。全部含めて賛同カンパが呼びかけられている。昨年同様、組合員の皆さんのご協力をよろしく。 ■一月三十一日、沖縄県の環境影響評価審査会は「辺野古基地建設は環境保全上、問題あり」との答申案骨格をまとめた。 ■高江ではハリパット建設工事再開を狙う沖縄防衛局と阻止する住民の緊張した攻防

普天間基地の県内移設反対を訴え、二六日記者会見を行った。 ■「沖縄・第三期意見広告運動」はこの訪米団に連帯してワシントンポスト紙(ウェブ版)に緊急意見広告を掲載。五月には国内紙への掲載を予定。全部含めて賛同カンパが呼びかけられている。昨年同様、組合員の皆さんのご協力をよろしく。 ■一月三十一日、沖縄県の環境影響評価審査会は「辺野古基地建設は環境保全上、問題あり」との答申案骨格をまとめた。 ■高江ではハリパット建設工事再開を狙う沖縄防衛局と阻止する住民の緊張した攻防

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

が日々展開。ご注目とご支援をよろしく。

脱原発 反原発

■原発のは非を問う住民条例制定

を求める署名運動。年末あわただしい中、組合員の皆さんのご協力で沢山の署名を届けた。当初、危ぶまれた数も規定数をはるかに越えた。橋下は金がかかると無視のそぶり。脱原発のウソが透けて見える。■政府は十二月十六日「原発事故収束」宣言。涼しい顔で着々と輸出も推進。収束の見込みはなく被害は拡大の一端なのにトンでもない！一月末、稼働中の原発は

三基に。一月三十一日にはIAEAが「ストレステストの手法は妥当」との報告書。この尻押しで関西電力大飯原発三号四号機再稼働で突破口を開こうとしている。再稼働許すな―原発全てを廃炉へ。■昨年九月十一日から霞ヶ関の経済産業省敷地内に張られたテントは三つ。「経産省前テントひろば」と呼ばれ宅急便も届く。ニューヨークから全米、世界に広がった占拠運動のさながら日本版。◇再稼働ゆるさない、福島の子もたちを放射能から守れ、被災者・避難者に補償を等、具体的要求を突きつけ、学習会

やイベントや全国交流の場になっている。◇十二月一日からは「原発いらない全国のおんなたち」の「とつきとうか」（言うまでもなく女が子を孕む期間）の座り込みも展開中。これが何を産み落とすのか。◇この間、当局が排除策動。一月二七日午後五時までに撤去せよと。多くの人々が結集し跳ね返す。◇運営のためのカンパや座り込みが呼びかけられている。支援・共闘を！

朝鮮高級 学校無償 化を！ 府は今ま で通りの 助成金を 打ち切る な

■一月二五日、エール大阪にて「東日本大震災・東北朝鮮学校の記録」上映と講演の夕べ。

◇三月十五日〜二〇日、韓国コマプレスの記者朴思柔さんは仙台に入り大被害を受けた東北ハッキョを取材。この映像は山形国際ドキュメンタリー映画際でも上映、反響を呼んだ。「大地は揺れても笑顔でいこう」このスローガン通り生き抜く姿。全国の同胞からの食料や支援物資を悪路の中、周り

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

の避難所や日本人被災者に配って回る先生と生徒たち。自分たちは二食しか食わずに…。民族と差別の壁をこえて差しのべられた援助に人間味溢れる交流と共生の姿が淡々と映し出される。◇学校は今、更地に。しかし宮城県は建設資金援助を拒否、今までの助成金さえ打切ってきた。理由は「県民感情」と。◇朴さんも唸る同胞の心の豊かさ、対照をなす日本の政治の醜さ非情さ。この不条理を突き出して映画は終わる。◇上映後、朴思柔さんが制作に至る経過や裏話、驚き、感動を話された。ご希望あればD

V D貸します。

■「子どもたちの笑顔と夢を奪わないで！」政府は一日も早い「無償化」適用を！大阪府助成金の今までとおりの交付を！
**朝鮮高級学校無償化を
求める連絡会・大阪結
成集会**

三月一日(木) 六時半

阿倍野区民センター

朝鮮高級学校が高校無償化から除外されたまま
早二年。

府議会は昨年十二月、
長年出してきた補助金も
十分の一にカット。差別
を止めさせ子ども達に信
頼と希望を！賛同とご結
集をよろしく！